

平成28年名古屋港の港勢

平成28年（2016年）の名古屋港の港勢は、入港船舶総トン数は前年実績を上回りましたが、入港船舶隻数、総取扱貨物量は前年実績を下回りました。

1 入港船舶

入港隻数は32,954隻（前年比1.1%減）と前年実績を下回りましたが、総トン数は2億3,840万トン（同1.6%増）と前年実績を上回りました。

○ 外航船舶

入港隻数は8,093隻（同1.1%増）、総トン数は2億22万トン（同2.6%増）とともに前年実績を上回りました。全体の5割以上を占めるコンテナ船においても、入港隻数は4,078隻（同1.7%増）、総トン数は9,458万トン（同1.0%増）と入港隻数、総トン数ともに前年実績を上回りました。

○ 内航船舶

入港隻数は、24,861隻（同1.8%減）、総トン数が3,819万トン（同3.3%減）と入港隻数、総トン数ともに前年実績を下回りました。

2 海上出入貨物

平成28年の総取扱貨物量は、1億9,326万トン（前年比2.4%減）と前年実績を下回りましたが、平成14年から15年連続で全国1位になりました。

また、総取扱貨物量のうち外貨物取扱量については、1億2,848万トン（同1.9%減）と前年実績を下回りましたが、平成12年から17年連続で全国1位になりました。

○ 外貨物

輸出貨物量は、5,271万トン（同4.6%減）と前年実績を下回りました。取扱貨物の上位品種には、完成自動車、自動車部品、産業機械といったこの地方で生産される代表的な品種が上がり、特に完成自動車、自動車部品の上位2品種で輸出全体の7割近くを占めています。国・地域別では1位中国664万トン、2位アラブ首長国427万トン、3位アメリカ420万トン、4位オマーン265万トン、5位オーストラリア259万トンです。

輸入貨物量は、7,576万トンと前年並みでした。取扱貨物の上位品種には、LNG（液化天然ガス）、鉄鉱石、原油、石炭といった天然資源が上がり、輸入全体の5割以上を占めています。国・地域別では、1位オーストラリア1,572万トン、2位中国1,137万トン、3位カタール690万トン、4位サウジアラビア492万トン、5位アメリカ461万トンです。

○ 内貿貨物

移出貨物量は、3,409 万トン（前年比 3.2%減）と前年実績を下回りました。取扱貨物の上位品種には、完成自動車、石油製品、鉄鋼、鋼材、重油が占めました。移入貨物量は、3,069 万トン（同 3.4%減）と前年実績を下回りました。取扱貨物の上位品種には、完成自動車、鋼材、石油製品、化学薬品、セメントが占めました。

○ 外貿コンテナ貨物

外貿コンテナ貨物量は、4,716 万トン（同 0.7%増）、コンテナ個数は 249 万 TEU（同 1.0%増）とともに前年実績を上回りました。

輸出入別で見ると、輸出は 2,318 万トン（同 1.6%増）、輸入は 2,398 万トン（同 0.2%減）と輸出は前年実績を上回りましたが、輸入は前年実績を下回りました。

品種別では、輸出は自動車部品、産業機械、完成自動車、その他化学工業品、ゴム製品が上位を占め、輸入は衣服・身廻品・はきもの、自動車部品、輸送用容器、家具装備品、電気機械が上位を占めました。

国・地域別では、輸出は、1 位中国 543 万トン、2 位アメリカ 326 万トン、3 位タイ 163 万トン、4 位中国（ホンコン）102 万トン、5 位台湾 100 万トンです。輸入は、1 位中国 1,045 万トン、2 位アメリカ 176 万トン、3 位タイ 143 万トン、4 位ベトナム 135 万トン、5 位中国（ホンコン）126 万トンです。